

入札におけるくじ

開札の結果、第1番目又は第2番目の入札参加者が複数あり、順位の決定ができない場合は、「くじ」によりその順位を決定する。

1 入札書の「くじの数」欄に任意の値を記入

くじを行う場合に備えて、入札書の「くじの数」欄にあらかじめ任意の値（000～999）を記入する。

なお、記入がない場合などは、登録番号の下3桁の数値が記載されたものとみなす。

2 くじの手順

ア 登録番号の小さい者から順にくじ番号（0、1、2…）を付与する。

イ 同額入札の入札書に記載されたくじの数を合算し、その合計額を入札書の数で除算し、余りを算出する。

ウ 上記イの計算結果による余りと一致した上記アのくじ番号の入札参加者を最上位とする。

エ 最上位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を2順位とする。この場合において、最上位のくじ番号に1を足したくじ番号が存在しない場合には、0のくじ番号の入札参加者を2順位とする。

オ 2順位のくじ番号に1を足したくじ番号の入札参加者を3順位とする。この場合において、2順位のくじ番号に1を足したくじ番号が存在しない場合には、0のくじ番号の入札参加者を3順位とする。

カ 4順位以下はオの規定に準じて順位を決定する。

【例】入札参加者3名が同額入札の場合

(1) 登録番号順にくじ番号を付与する

A社（登録番号 100980021）…… くじ番号 0

B社（登録番号 100980142）…… くじ番号 1

C社（登録番号 100982293）…… くじ番号 2

(2) くじの数の和を求め、同額入札者数で除算し、余りを算定する。

A社（くじの数067） 合計（067+498+684=1249）

B社（くじの数498）

C社（くじの数684） 余り（1249÷3=416…余り1）

(3) 順位の決定

最上位は、余りの1と一致するくじ番号であるB社

2順位は、1+1=2と一致するくじ番号であるC社

3順位は、2+1=3のくじ番号が存在しないので、くじ番号0のA社